

事業評価書

補助事業名	三沢飛行場等関連公共用施設(消防に関する施設:高規格救急自動車購入)整備事業						
補助事業者名	三沢市長 小檜山 吉紀						
実施場所	青森県三沢市古間木2丁目180番地3号(三沢市消防署古間木出張所)						
補助事業の成果の目標	<p>本事業で更新整備する車両は、平成23年度事業で三沢市消防署古間木出張所に配備した高規格救急自動車であり、現車両は平成23年度に購入後9年が経過し、走行距離は8万kmを超えたことで、車体にはエンジン系の故障や電装系の故障が発生してきている。また、過去に市所有の高規格救急自動車が、購入から10年経過後に救急搬送中のエンジン停止や出動時にエンジンが始動しない等の市民の生命を脅かす故障が多発したことから、こうした生死に関わる故障を引き起こす前に更新整備する必要がある。</p> <p>加えて、新型コロナウイルス感染症が蔓延するなか、現車両では運転室と傷病者室の間に仕切りがないためビニールシートをテープ貼り対応しているなど感染防止対策が十分とはいえないことから、新たに専用の間仕切りを備える等により感染対策等の向上となる。</p> <p>以上のことから、本車両の更新にあわせて救急資器材を整備することにより、今まで以上に市民に安全な救急業務を提供し、地域住民の生活環境の向上を図るものである。</p>						
補助事業の内容	高規格救急自動車 1台						
補助事業の始期及び終期	令和3年度						
事業費及び交付金額		3年度					計
	事業費	円 39,072,000					円 39,072,000
	交付金額	36,600,000					36,600,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【成果】 車両を更新したことにより、故障リスクが低減し、安定的に救急車を運用することが可能となった。加えて、新型の高規格救急自動車及び高度救命処置用資器材等へ更新したことで、新型コロナウイルス感染症対策を講じた車両となり、また、最新の救急資器材等を積載することで、これまでより安全かつ充実した環境での救急活動が可能となった。</p> <p>【評価】 運転室と傷病者室を専用の間仕切りで区画できるようになったことで、傷病者から救急隊員へ、救急隊員から別な傷病者へと感染拡大するリスクを低減することが可能となった。また、製造中止により部品供給が困難となっていた自動体外式除細動器及び心電図モニターを更新したことにより、救急活動中に不具合が発生する危険性が減少し、万一、不具合が発生した場合でも、早期に修理が可能となったことで、救急業務の継続に不安がなくなった。</p> <p>以上のことから、今まで以上に市民に安全な救急業務を提供し、地域住民の生活環境の向上を図ることが出来たと評価する。</p> <p>【周知実績】 購入した車両後部に青色文字で交付金事業である旨を表示し、市の広報誌及び市のホームページ内に交付金事業により車両を購入した旨を掲載することによって周知を行った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	車両及び救急資器材の取扱い訓練等を行い、救急活動において、最大限に活用できるようにする。						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						